

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

安心・安全な商品を提供し、県産及び九州産原材料をメインに加工し消費者等すべての顧客に満足度や利益が最大化されるように事業を推進するとともに、昨今の世界情勢を含め自給自足できる米や野菜の双方の栄養素を併せ持つ商品展開を推進しグルテンフリー商品を地域・世界の「持続可能な商品」展開に貢献する企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
◎環境 ◎社会 ◎経済	廃棄米袋を再利用し、米袋のエコバック展開を進め廃棄品の減少	廃棄米袋のエコバック展開使用率 2020年5%→2024年30%
◎環境 ◎社会 ○経済	廃棄米粉(粗米粉)のフードロス削減 「ジビエ餌への転換などによる、廃棄米粉(粗米粉)のフードロス削減」	廃棄米粉(年間) 2020年 360k→ 2024年 50k
○環境 ◎社会 ◎経済	災害食(ローリングストック食)への商品展開	災害食展開率(年間) 2020年5%→2024年30%

<パートナーシップ>

食の安心・安全に向け製造業者である自社と、自治体及び崇城大学と連携し産学官との間に信頼関係を構築し健康及び食の安全を図る。また、企業内部においても従業員一人ひとりの状況に応じ働きやすい環境の整備を図る。パートナーシップとしてエコバックは学童保育所や幼稚園等ワークショップ等で展開を進める。災害食は地元自治体と連携しローリングストック食として、また他自治体へと提案を進めていく。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。